

- 問1 東南アジアの多くの地域で見られる「雨季」と「乾季」の仕組みと、それが自然環境に与える影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。 | 2. 一年中西から東へと吹く偏西風がヒマラヤ山脈にぶつかること、山麓の地域のみに大量の降水をもたらす。下流の湖の面積を変動させる。 | 3. 数年おきに発生するエルニーニョ現象によって、雨季の時期だけ極端に海水温が上昇し、その水蒸気が供給されることで降水量が著しく増加する。 | 4. 一年を通じて赤道低圧帯の影響を受けるため、季節による降水量の変化はほとんどなく、湖の面積は年間を通じて一定に保たれる。 |
|---|---|---|--|
- 問2 東南アジアの諸都市における月平均気温の統計資料を確認したところ、多くの都市が5月から6月に最高気温を記録する一方で、ある特定の都市では8月の月平均気温が26.3度と、1年の中で最も低くなるという特徴が見られました。このような気候の特徴を持つ都市が位置する場所として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|--------------|-------------------|-----------------|
| 1. インドネシアのジャワ島付近 | 2. マレー半島の先端部 | 3. ベトナムのインドシナ半島東部 | 4. フィリピンのルソン島北部 |
|------------------|--------------|-------------------|-----------------|
- 問3 日本とフィリピンの経済連携協定（EPA）における、具体的な取り組みとフィリピン側のメリットを組み合わせたものとして、適切なものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. フィリピン産米の日本への輸出枠の拡大と、日本からの原子力発電技術の無償提供 | 2. 日本へのパナナ輸出に関する関税の撤廃と、日本からの看護・介護分野における技能習得支援 | 3. 日本企業のフィリピン国内での活動禁止と、フィリピン政府による日本円の独占的運用 | 4. 日本から輸入する自動車への関税の大幅な引き上げと、フィリピン国内の道路網整備の独占 |
|--|---|--|--|
- 問4 南アジアの気候的特徴において、夏にインド洋側から吹く季節風が、ヒマラヤ山脈に突き当たることでもたらされる地理的現象として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 偏西風が山脈にぶつかること、季節に関わらず常に一定の降雨が山脈の北側にもたらされる。 | 2. 北から吹く冷たい季節風がインド洋の暖気と混ざり、年間を通じて気温の変化がなくなる。 | 3. 乾燥した空気が山脈を越えて吹き下ろすため、インド半島全域が一年中乾燥した気候になる。 | 4. 湿った空気が山脈に遮られるため、山脈の南側で降水量が多くなり、農業に欠かせない恵みとなる。 |
|---|--|---|--|
- 問5 インドにおいてIT産業が急速に発展した背景には、教育制度が大きく関わっています。その教育の特徴と産業への影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 高度な理数教育が行われており、数多くの優秀な技術者が育成された。 | 2. 伝統的な工芸技術を継承するため、徒弟制度による手工業教育を重視した。 | 3. 農村部における農業技術の向上を目指し、一次産業の教育に特化した。 | 4. 安価で単純な労働力を提供するため、初等教育のみに注力した。 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問6 インドの生活文化に大きな影響を与えているヒンドゥー教において、自然環境であるガンジス川が人々の信仰の中で果たしている役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 唯一神から授かった聖地として、砂漠の中にある貴重な水源を管理するための厳しい戒律の象徴となっている。 | 2. 川そのものを神聖なものとして崇めており、水に浸かって罪を洗い流し心身を清める沐浴の場となっている。 | 3. 川の氾濫を鎮めるために、他の地域から伝わった仏教の教えに基づき、大規模な寺院を建立する中心地となっている。 | 4. 東南アジア諸国へ布教を行うための唯一の航路として、宗教儀礼に基づいた造船技術を発展させる場となっている。 |
|---|--|--|---|
- 問7 東南アジアの島嶼部（とうしょぶ）に位置する諸国の宗教分布について述べた文として、正しいものはどれですか。赤道付近に位置するインドネシアと、その北東に位置するフィリピンの歴史的背景を踏まえて選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. インドネシアではヒンドゥー教が最も多くの人々に信仰されており、フィリピンではプロテスタントが主流の宗教となっている。 | 2. インドネシアではスペインの植民地支配によってカトリックが広まり、フィリピンでは古くからイスラム教が国家の基盤となっている。 | 3. インドネシアでは交易の影響でイスラム教が広まっており、フィリピンではかつてのスペイン植民地時代の地縁からカトリックが広く信仰されている。 | 4. インドネシアでは仏教が国民の大部分によって信仰されており、フィリピンではかつてのオランダ植民地支配の影響でイスラム教が広がった。 |
|---|--|---|---|
- 問8 中国の沿海部に特定の開発地区が設置され、急速な工業化が進んだ背景とその特徴について述べた文として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 返還された香港やマカオにおいて、社会主義体制を即座に適用するために、沿海部全域を特別行政区として厳格に管理した。 | 2. 内陸部の貧困問題を解決することを第一の目的とし、広大な土地を活用するために経済特区を内陸の農村地帯に集中させた。 | 3. 海外からの資本や技術を導入して工業化を加速させるため、税制上の優遇措置などを設けた経済特区を沿海部に設置した。 | 4. 経済協力開発機構（OECD）への加盟を機に、先進国からの無償援助を受けるための拠点として沿海部の港湾都市を整備した。 |
|---|---|--|---|
- 問9 インドの地理的・文化的特色について述べた文として、宗教と産業の関係に着目した記述として正しいものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. カースト制度の影響により、特定の身分以外の国民は動物から得られる乳製品を口にすることが禁じられている。 | 2. イスラム教徒が多いため、不浄とされる豚だけでなく、宗教上の理由から牛の飼育も一切行われていない。 | 3. ヒンドゥー教徒が多いため、牛を神聖視して牛肉の食用を避ける一方で、牛乳などの乳製品の生産が盛んである。 | 4. 仏教徒が人口の大部分を占めており、殺生を禁じる教えから、家畜を飼育する畜産業自体がほとんど行われていない。 |
|--|---|--|--|
- 問10 トルコの貿易に関する説明として、輸出統計資料の状況に基づいた記述として正しいものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 地理的に隣接するイラクが最大の貿易相手国であり、輸出額の過半数を占めている。 | 2. 地中海対岸のイタリアが最大の輸出相手国であり、アジア諸国への輸出は行われていない。 | 3. 最大の輸出相手国はドイツであり、地理的に近いヨーロッパ諸国との経済的な結びつきが強い。 | 4. 歴史的に関係の深いイギリスが最大の輸出相手国であり、ドイツとの貿易額は極めて少ない。 |
|---|--|--|---|
- 問11 インドを中心に約12億人の信者を持ち、世界全体の宗教別人口割合においてキリスト教、イスラム教に次いで3番目に多い約15.2パーセントを占める宗教について、その特徴として正しい説明を選んでください。 (2026年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 唯一神アッラーを信仰し、ラマダーンと呼ばれる断食の期間や、聖地メッカへの礼拝を重視する。 | 2. 特定の神を持たず、厳しい修行を通じて悟りを開くことを目指し、東南アジアや東アジアに広がった。 | 3. イエスを救い主として信じ、世界で最も多い約31.1パーセントの人口割合を占めている。 | 4. 牛を神の使いとして大切にすため牛肉を食べない習慣があり、ガンジス川での沐浴を重視する。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。	東南アジアの地理的特徴として、季節風（モンスーン）による降水量の劇的な変化が挙げられます。カンボジアのプノンベン近郊などでは、夏から秋にかけての雨季に降水量が集中します。この気候メカニズムによって、トンレサップ湖では4月の約3,300km ² から10月の約11,600km ² へと、季節によって湖の姿が大きく変わる環境が形作られています。選択肢にある偏西風は主に日本などの中緯度帯に影響を与える風であり、エルニーニョ現象は周期的な異常気象を指すため、毎年の安定した季節サイクルを説明するものではありません。
問2	答え 1 インドネシアのジャワ島付近	東南アジアの大部分は北半球に位置していますが、インドネシアのジャワ島などは赤道よりも南の「南半球」に位置しています。南半球では北半球と季節が逆転するため、日本などの北半球の国々が夏季を迎える8月頃に、1年の中で最も気温が低くなる時期（冬に相当する時期）を迎えるという特徴があります。
問3	答え 2 日本へのバナナ輸出に関する関税の撤廃と、日本からの看護・介護分野における技能習得支援	EPAは物品の関税だけでなく、サービスや人の移動も対象としています。フィリピン側の具体的なメリットとしては、主要な輸出品目であるバナナの関税がなくなることによる輸出拡大や、看護師・介護福祉士候補者が来日して日本の知識や技能を学ぶ支援を受けられることが挙げられます。これにより、フィリピンの経済活性化と人材育成が図られています。
問4	答え 4 湿った空気が山脈に遮られるため、山脈の南側で降水量が多くなり、農業に欠かせない恵みとなる。	インド洋から北上してくる夏の季節風は大量の水蒸気を含んでいます。これがヒマラヤ山脈に突き当たると、強制的に上昇させられて雲が発達し、山脈の南側に位置する地域に世界的な多雨地帯を形成します。この降水パターンは、インドなどの南アジア諸国における生活様式や農業（特に稲作）に深く結びついています。
問5	答え 1 高度な理数教育が行われており、数多くの優秀な技術者が育成された。	インドでは国を挙げて理数教育に力を入れており、世界的に通用する高い能力を持ったエンジニアを多く輩出しています。この教育水準の高さが、ソフトウェア開発などの高度な知識を必要とするIT産業の発展を支える土台となりました。これに加えて、英語が公用語の一つであることや、アメリカとの時差が業務の効率化に有利であったことも発展の要因です。
問6	答え 2 川そのものを神聖なものとして崇めており、水に浸かって罪を洗い流し心身を清める沐浴の場となっている。	ヒンドゥー教徒にとってガンジス川は、女神が地上に降りてきたものとされ、非常に神聖視されています。この川で「沐浴」をすることで、現世の罪が浄化されると信じられており、宗教的な儀式としてだけでなく、人々の生活の一部として深く根付いています。これは宗教が特定の地形や自然環境と密接に関わっている地理的な事例の一つです。
問7	答え 3 インドネシアでは交易の影響でイスラム教が広まっており、フィリピンではかつてのスペイン植民地時代の地縁からカトリックが広く信仰されている。	東南アジアの宗教分布は、歴史的な背景と深く結びついています。インドネシアは中世以降の海上交易を通じてイスラム教が浸透し、現在は世界最大のイスラム教徒人口を抱える国となっています。一方、フィリピンは16世紀から後半から約300年間にわたってスペインの植民地支配を受けたため、東南アジアの中では例外的にキリスト教のカトリックが広く普及しました。オランダは主にインドネシアを植民地化しましたが、宗教的な影響はスペインほど強く残りませんでした。
問8	答え 3 海外からの資本や技術を導入して工業化を加速させるため、税制上の優遇措置などを設けた経済特区を沿海部に設置した。	中国は「改革・開放」政策により、外国企業を誘致して経済成長を図る道を選びました。地理的に輸出入に有利な沿海部に経済特区を設置し、外国からの投資を促進した結果、中国は「世界の工場」と呼ばれるまでに工業化を遂げました。この政策は、中国の経済成長に大きく寄与した一方で、発展した沿海部と発展が遅れた内陸部との間での経済格差（所得格差）を生む要因の一つにもなりました。
問9	答え 3 ヒンドゥー教徒が多いため、牛を神聖視して牛肉の食用を避ける一方で、牛乳などの乳製品の生産が盛んである。	インドは世界的な牛乳の生産国ですが、これは人口の多数を占めるヒンドゥー教徒が、牛を神聖な生き物として大切にしている文化を持っていることに関連しています。ヒンドゥー教では牛肉の摂取は禁忌とされますが、乳製品は生活に欠かせないものとなっています。地理の学習においては、西アジアで豚肉の食用を避けるイスラム教の文化と対比させて理解しておくことが重要です。
問10	答え 3 最大の輸出相手国はドイツであり、地理的に近いヨーロッパ諸国との経済的な結びつきが強い。	トルコは地理的にヨーロッパに近く、経済的な面でもヨーロッパ諸国と密接な関係にあります。実際の輸出統計においても、ドイツが輸出額全体の9.3パーセントを占める最大の輸出相手国となっており、欧州連合（EU）諸国との活発な貿易がトルコ経済を支える重要な要素となっています。
問11	答え 4 牛を神の使いとして大切にするため牛肉を食べない習慣があり、ガンジス川での沐浴を重視する。	ヒンドゥー教はインドの人口の多くを占める宗教であり、牛を聖なるものとして崇めるため牛肉を食べないという強い食のタブーがあります。また、ガンジス川は聖なる川とされており、そこで身を清める「沐浴（もくよく）」が日常的に行われています。世界全体の統計では、キリスト教（約31.1%）、イスラム教（約24.9%）に次ぐ規模となっています。